

平成 29 年 7 月 6 日

## 『在宅介護実態調査』の実施結果について

## 1 調査の目的

第 7 期介護保険事業計画（平成 30～32 年度）の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎的資料とすることを目的としています。

## 2 調査方法： 認定調査員による聞き取り調査

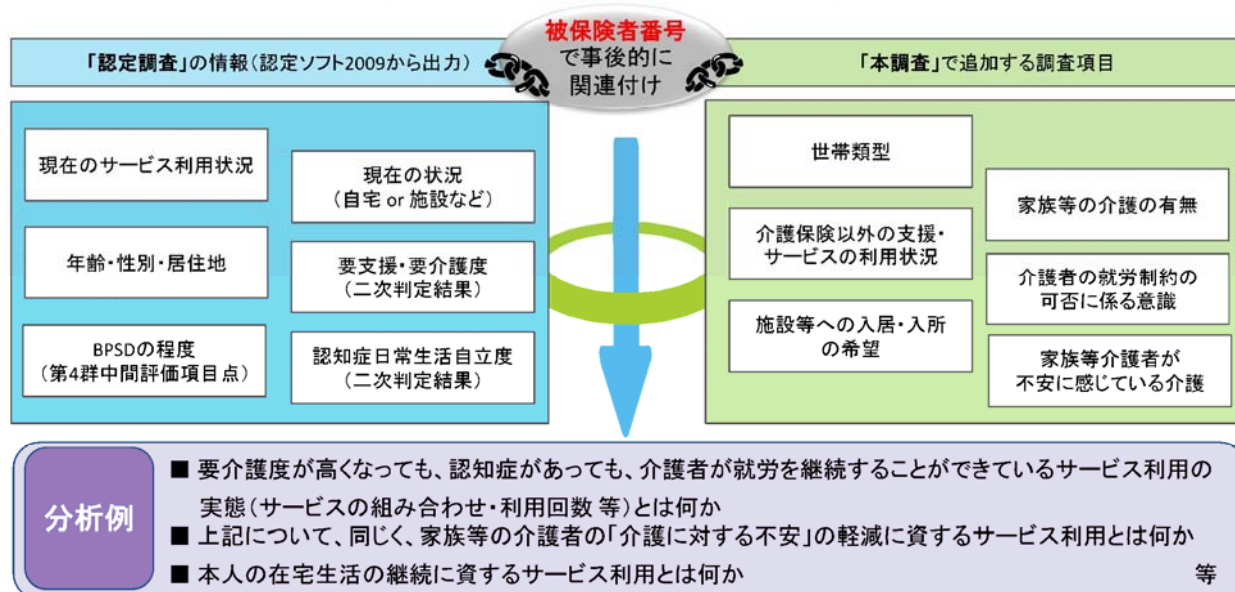
## 3 対象地域：鳥取市全域

## 4 有効回答数：1, 210 票

## 5 調査期間：平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 2 月 10 日

## 6 調査対象者：期間内に要支援・要介護認定の更新、変更申請に伴う認定調査を行った、居宅にお住まいの方（施設・居住系、入院を除く）本人と主な介護者

## 「調査結果」と「認定データ」の関連付けとその分析のイメージ





<集計分析結果>

(単純集計版)

# 在宅介護実態調査の集計結果

～第7期介護保険事業計画の策定に向けて～

平成29年7月

<鳥取市>



# 目次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の本人との関係	[P. 2]
(4) 主な介護者の性別	[P. 2]
(5) 主な介護者の年齢	[P. 3]
(6) 主な介護者が行っている介護	[P. 4]
(7) 介護のための離職の有無	[P. 5]
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	[P. 5]
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	[P. 6]
(10) 施設等検討の状況	[P. 6]
(11) 本人が抱えている傷病	[P. 7]
(12) 訪問診療の利用の有無	[P. 7]
(13) 介護保険サービスの利用の有無	[P. 8]
(14) 介護保険サービス未利用の理由	[P. 8]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 9]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 9]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 9]
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	[P. 10]
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 10]
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 11]

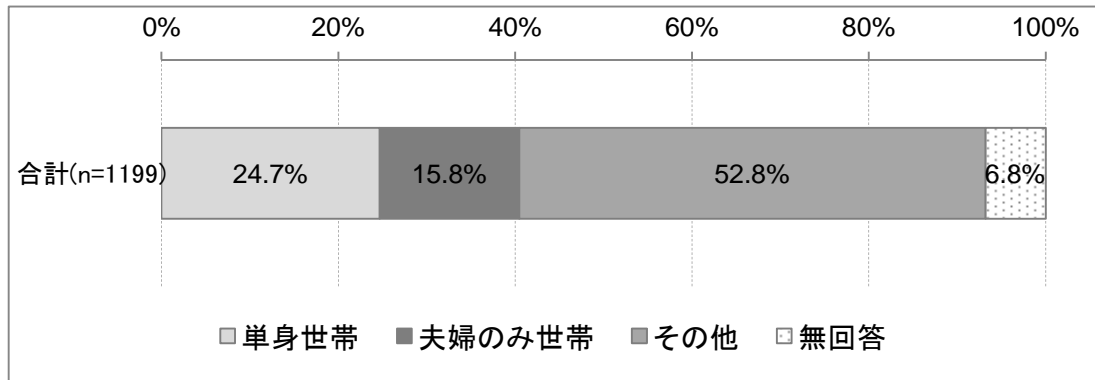
※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。



# 1 基本調査項目（A票）

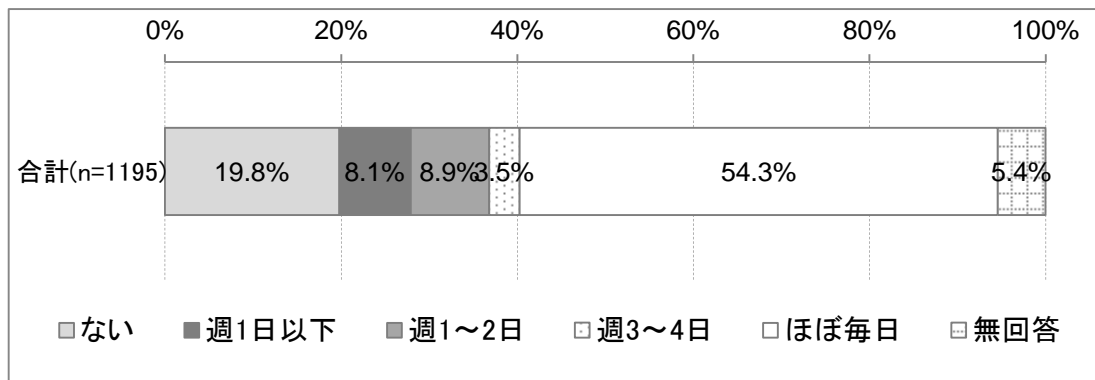
## (1) 世帯類型

図表 1-1 世帯類型（単数回答）



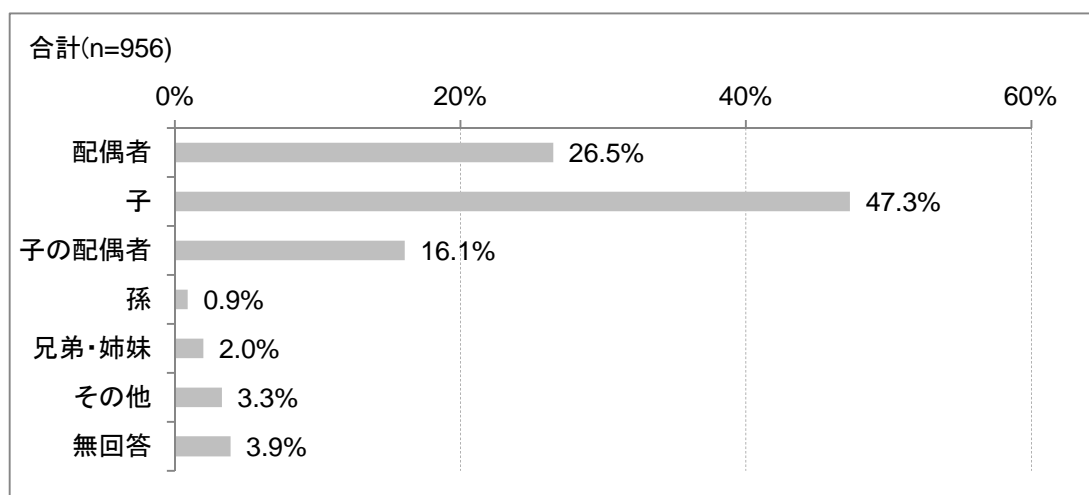
## (2) 家族等による介護の頻度

図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



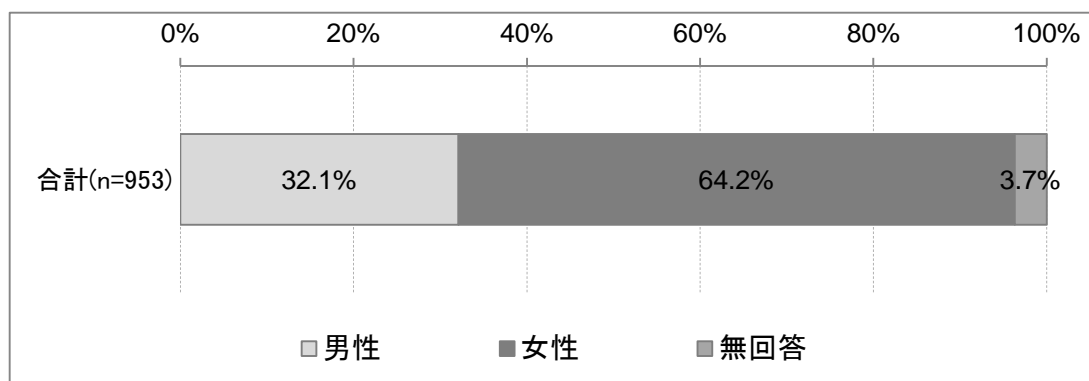
(3) 主な介護者の本人との関係

図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



(4) 主な介護者の性別

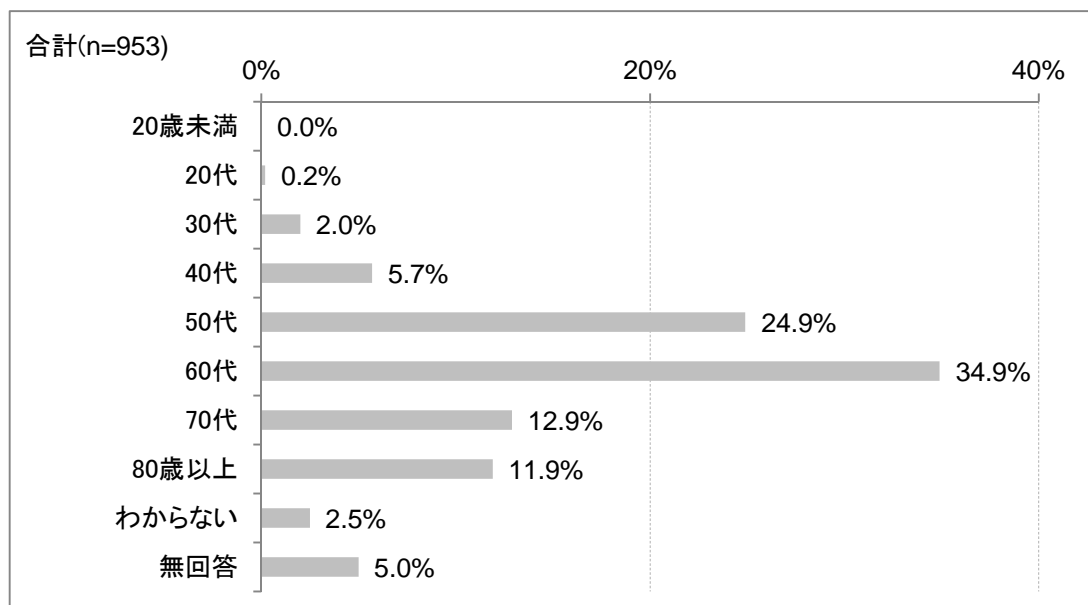
図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）





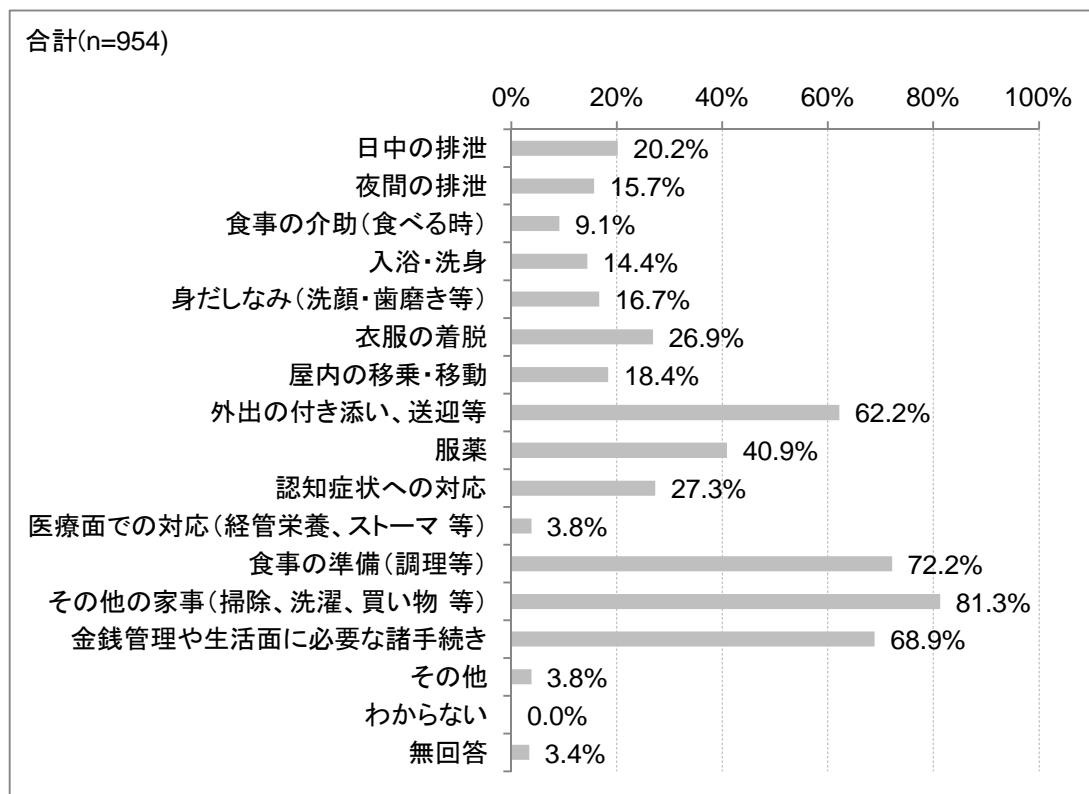
(5) 主な介護者の年齢

図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



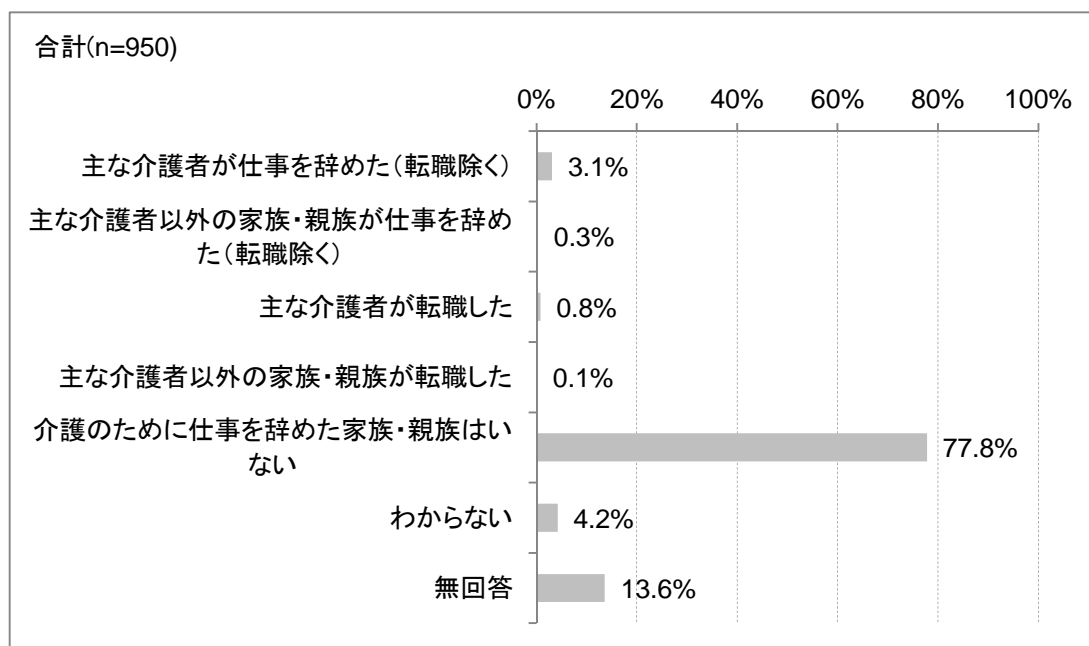
(6) 主な介護者が行っている介護

図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



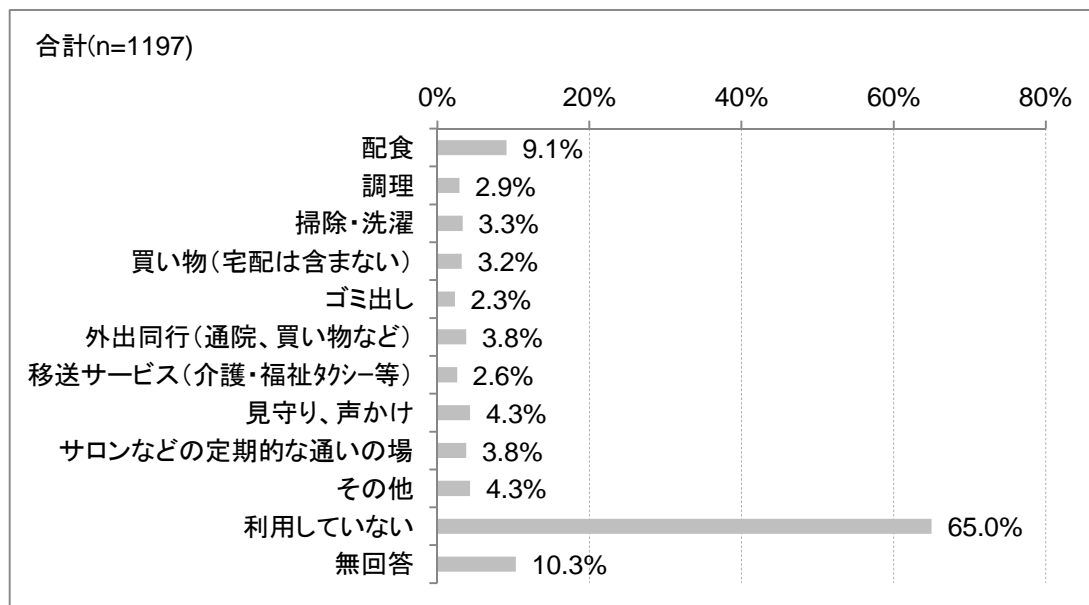
(7) 介護のための離職の有無

図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



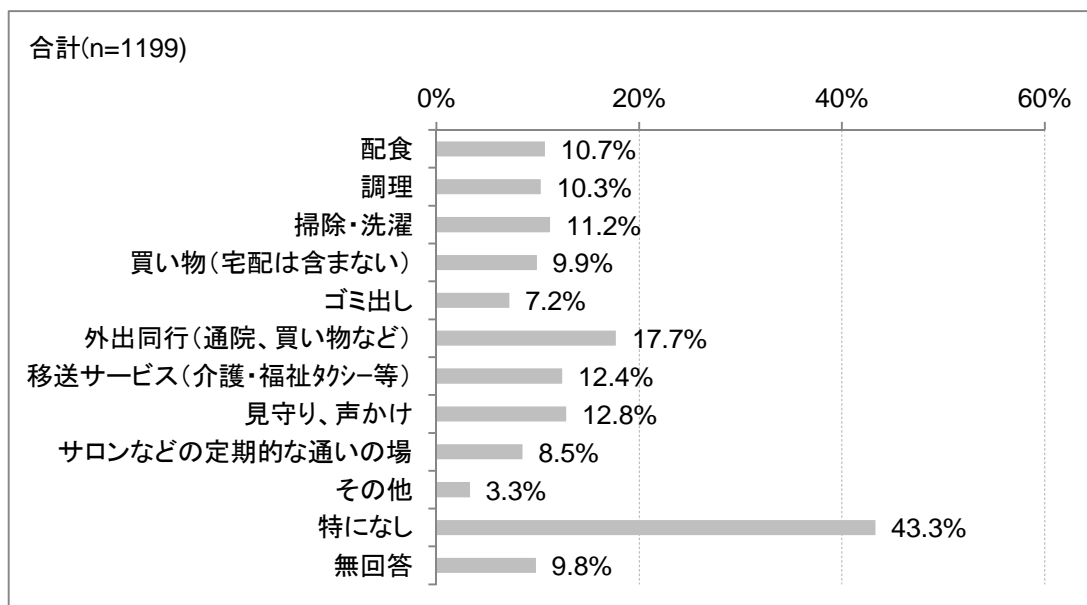
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



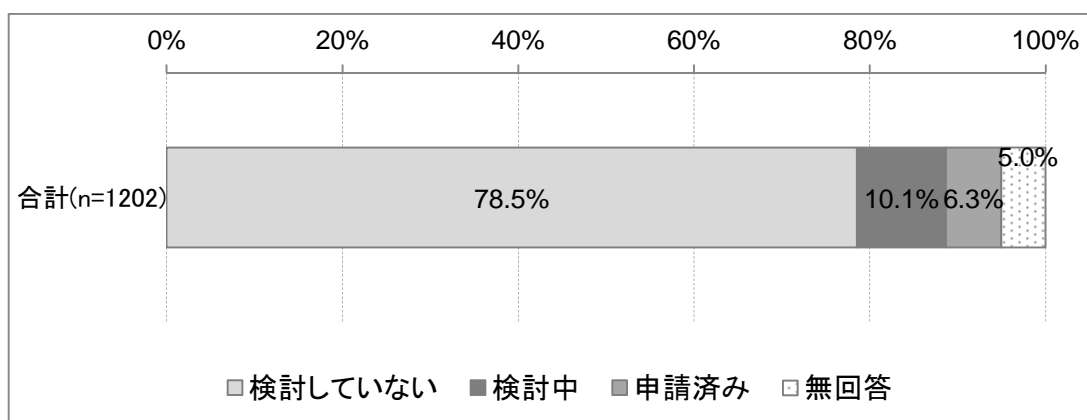
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



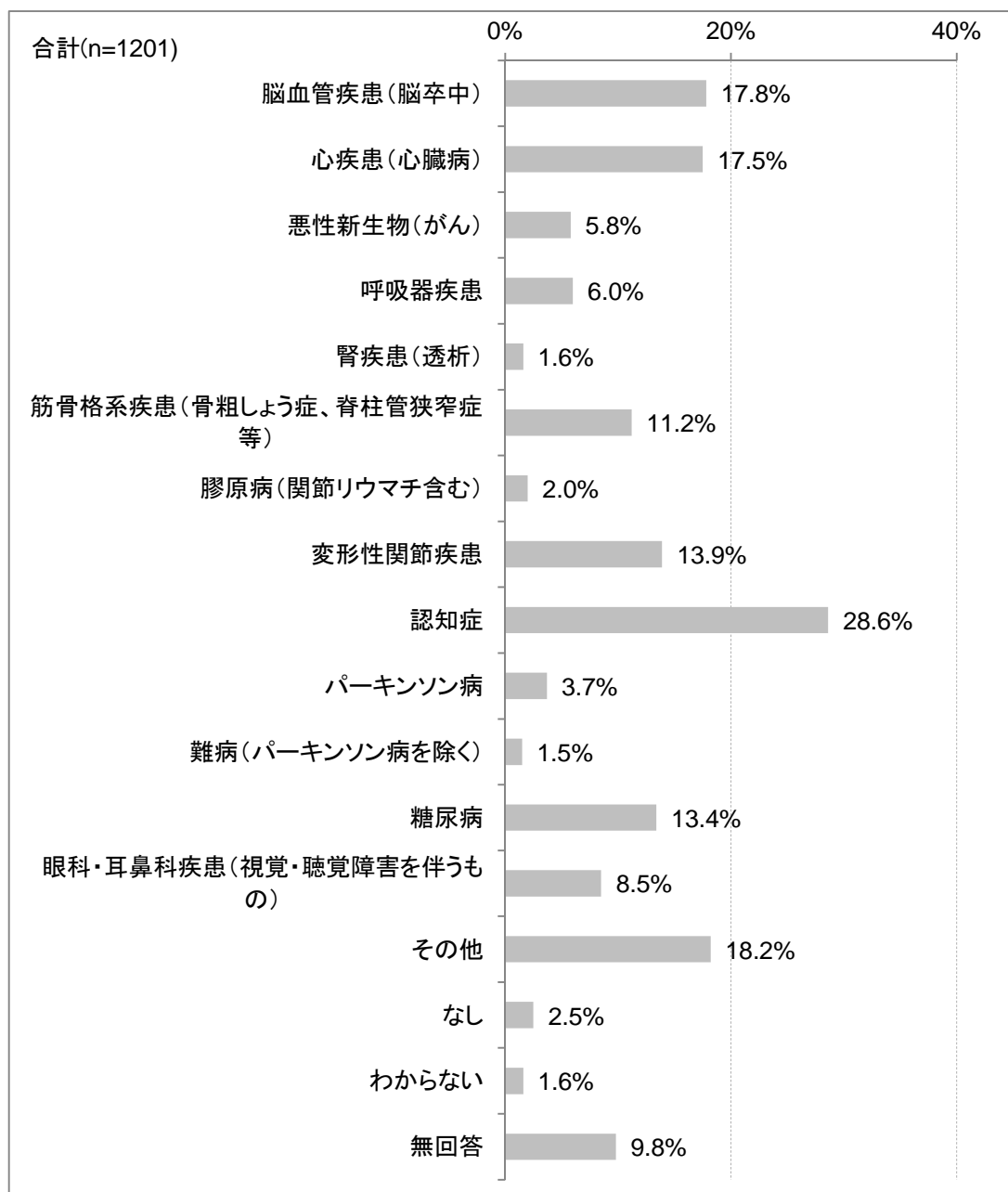
(10) 施設等検討の状況

図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



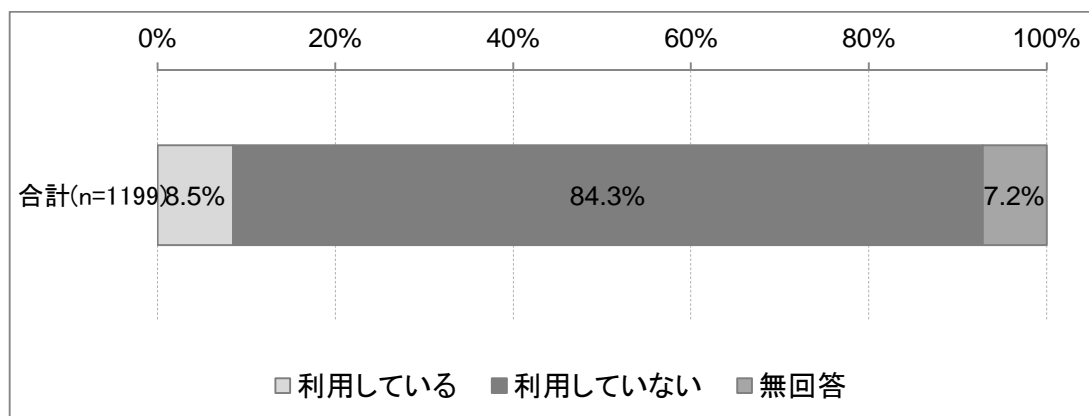
(11) 本人が抱えている傷病

図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



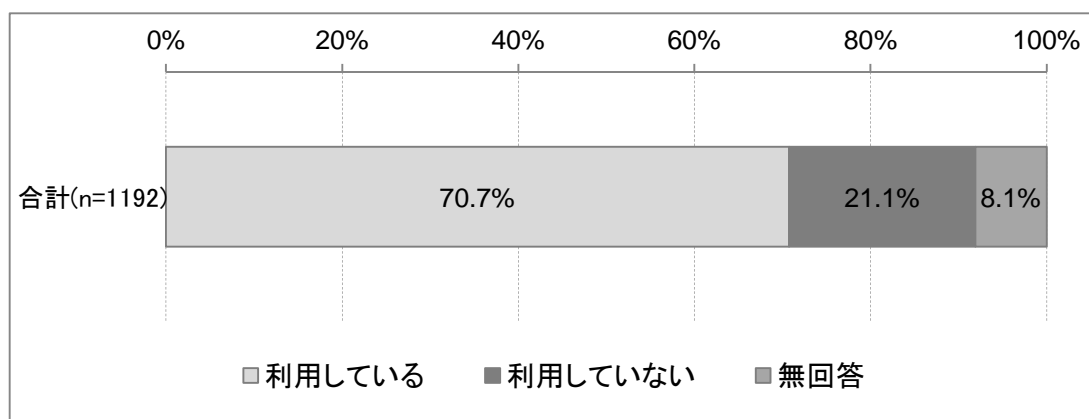
(12) 訪問診療の利用の有無

図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）



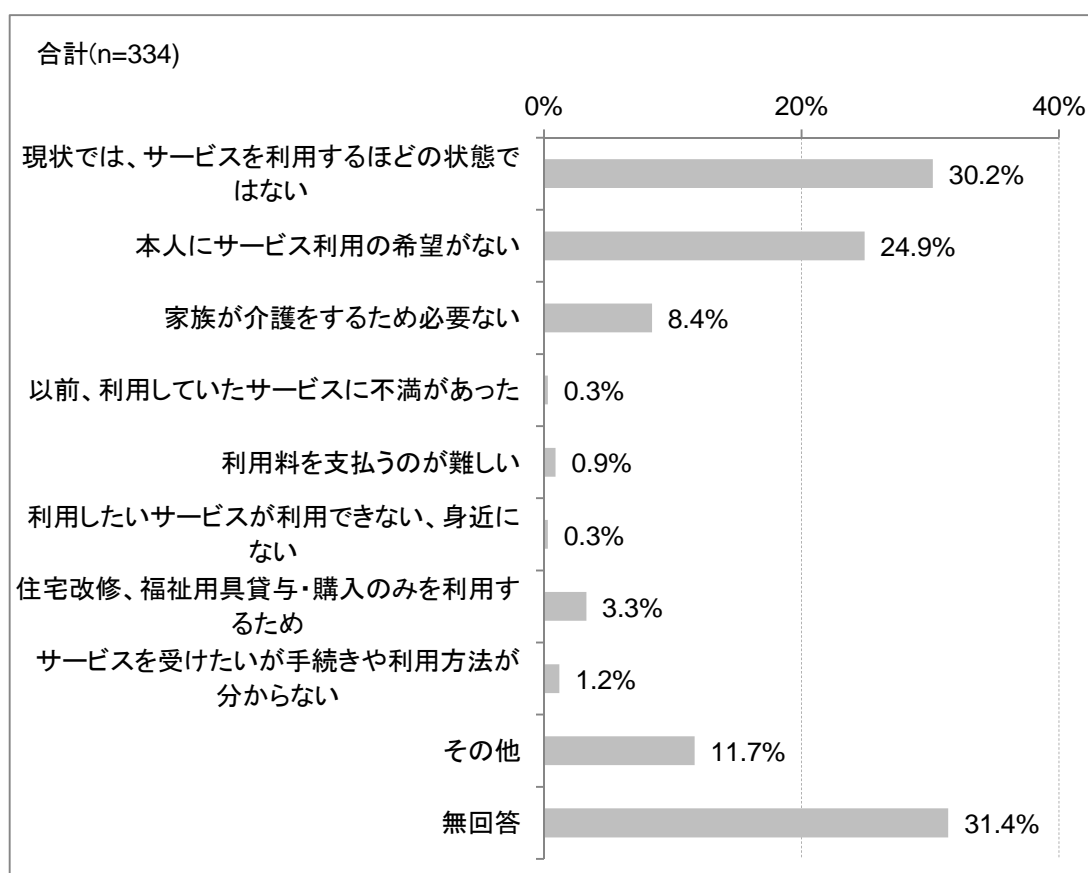
(13) 介護保険サービスの利用の有無

図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(14) 介護保険サービス未利用の理由

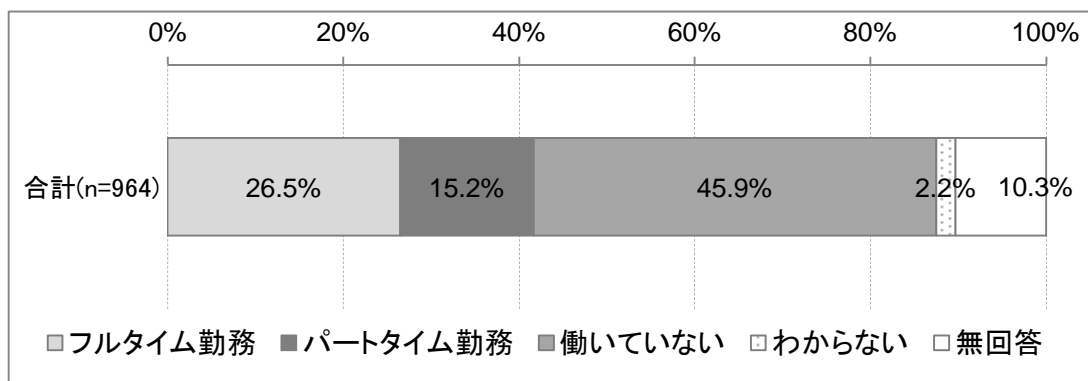
図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）



## 2 主な介護者様用の調査項目（B票）

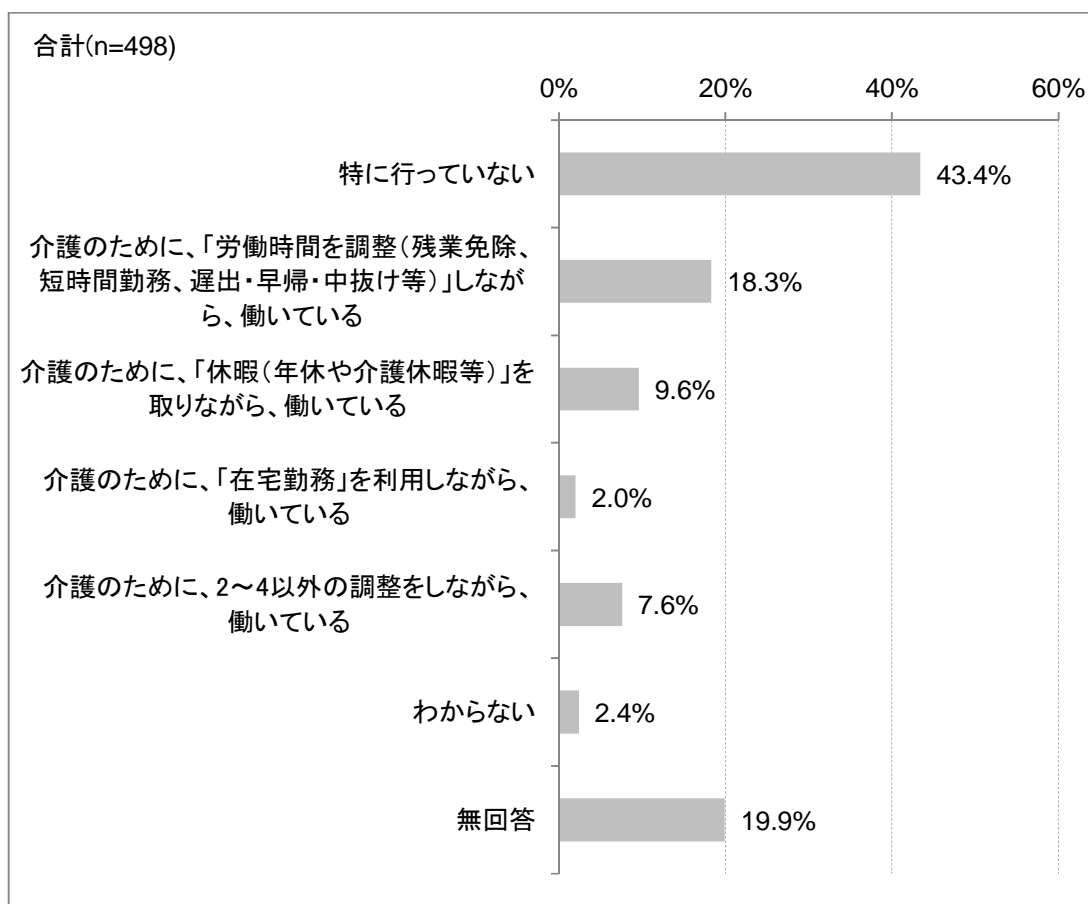
### (1) 主な介護者の勤務形態

図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



### (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

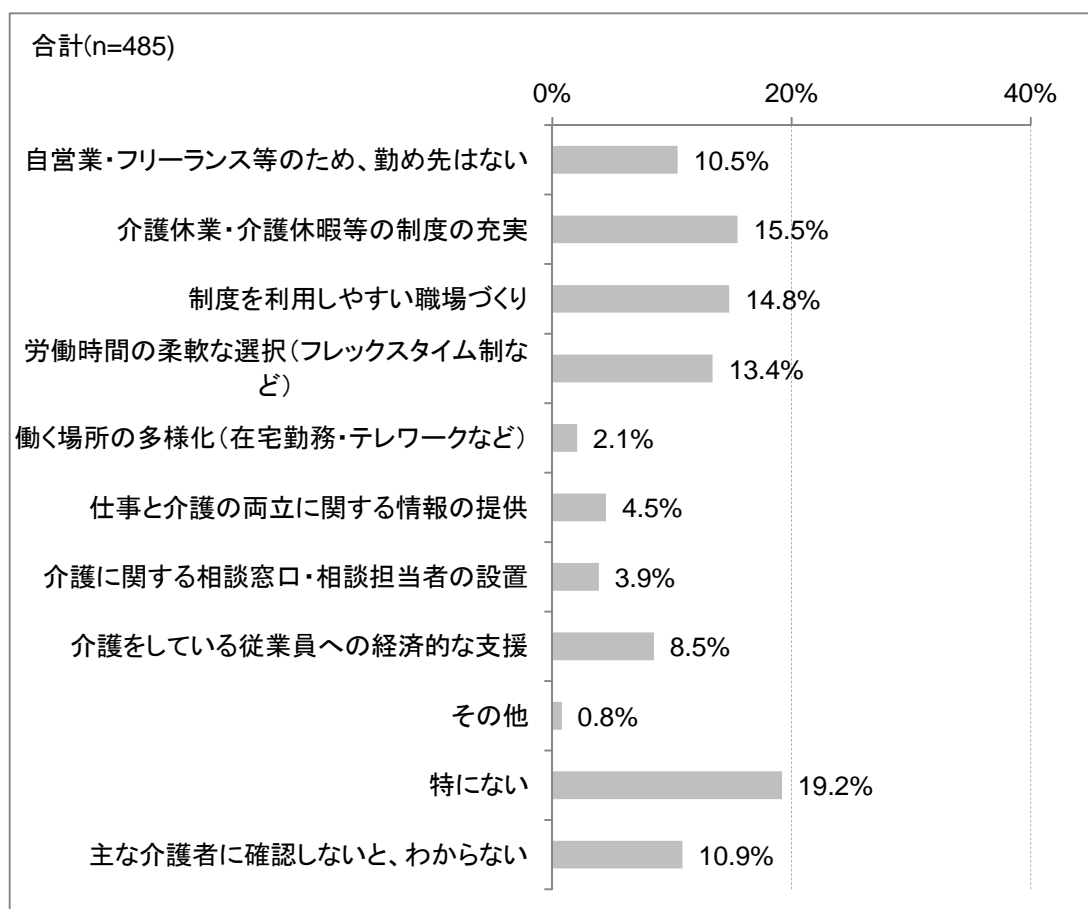
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）





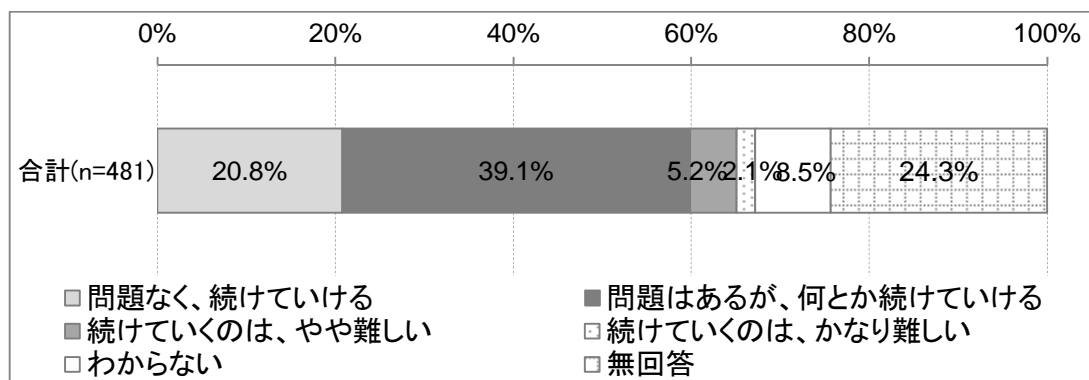
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



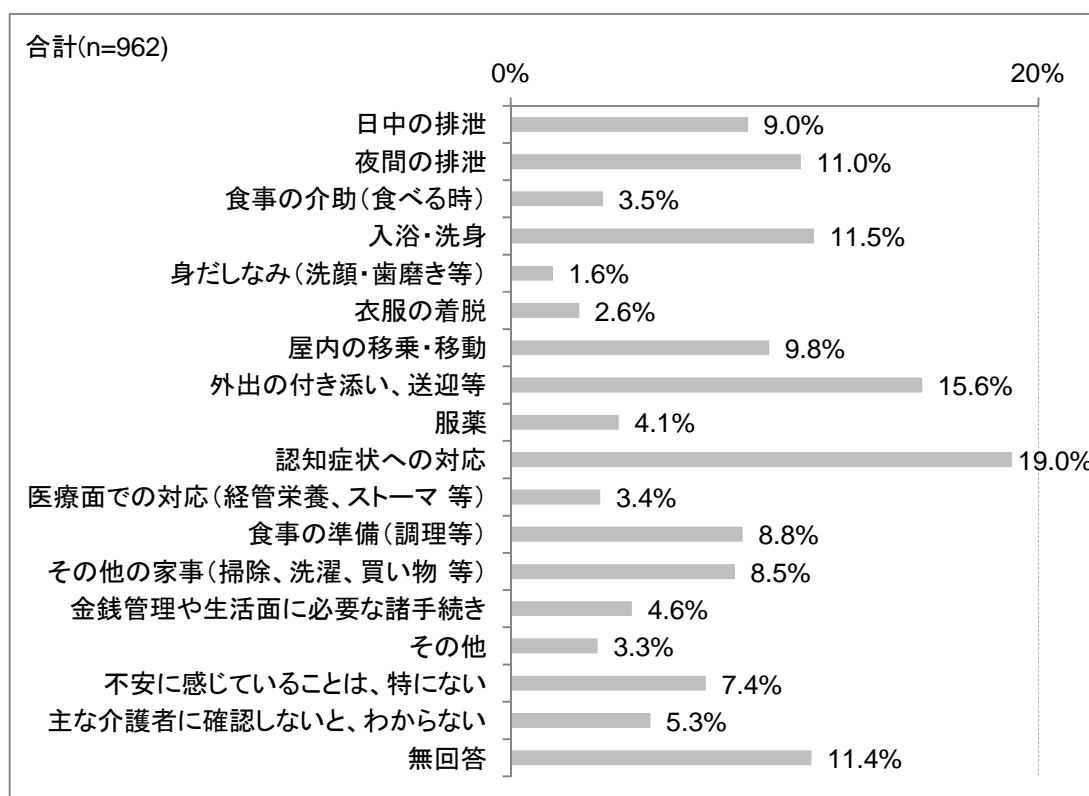
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護（複数回答）





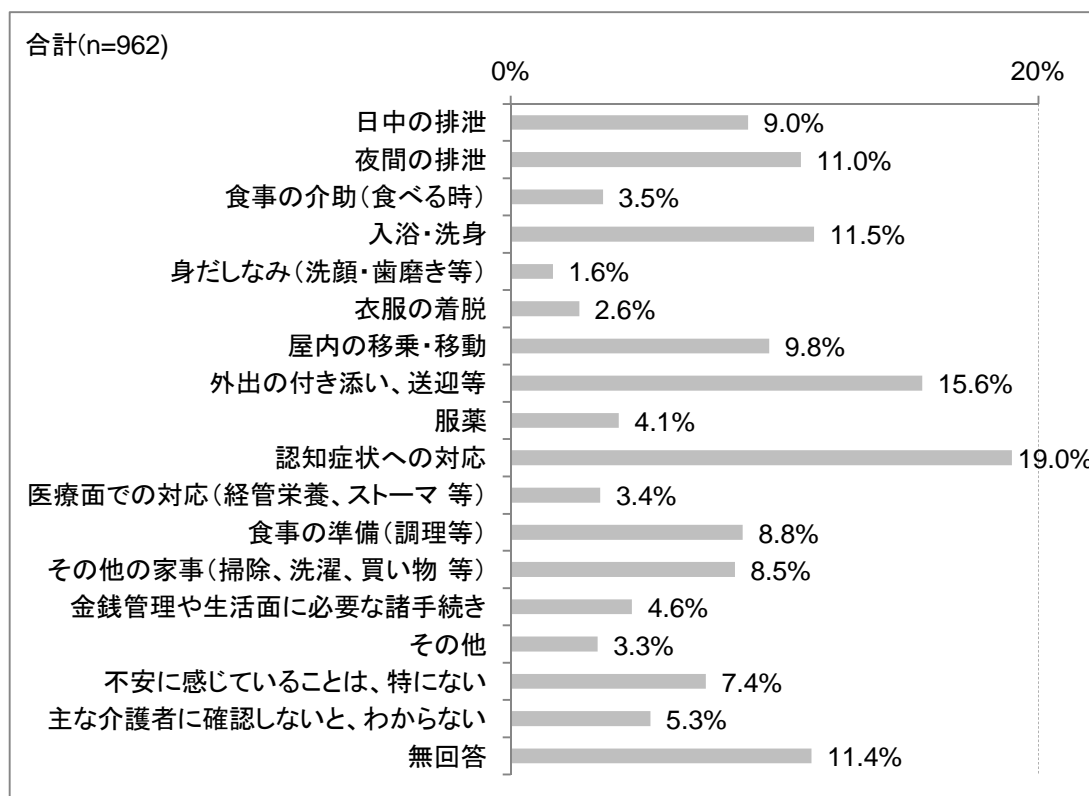


検討テーマ「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」に関するものについての主な集計結果

検討テーマ：1 要介護者の在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討

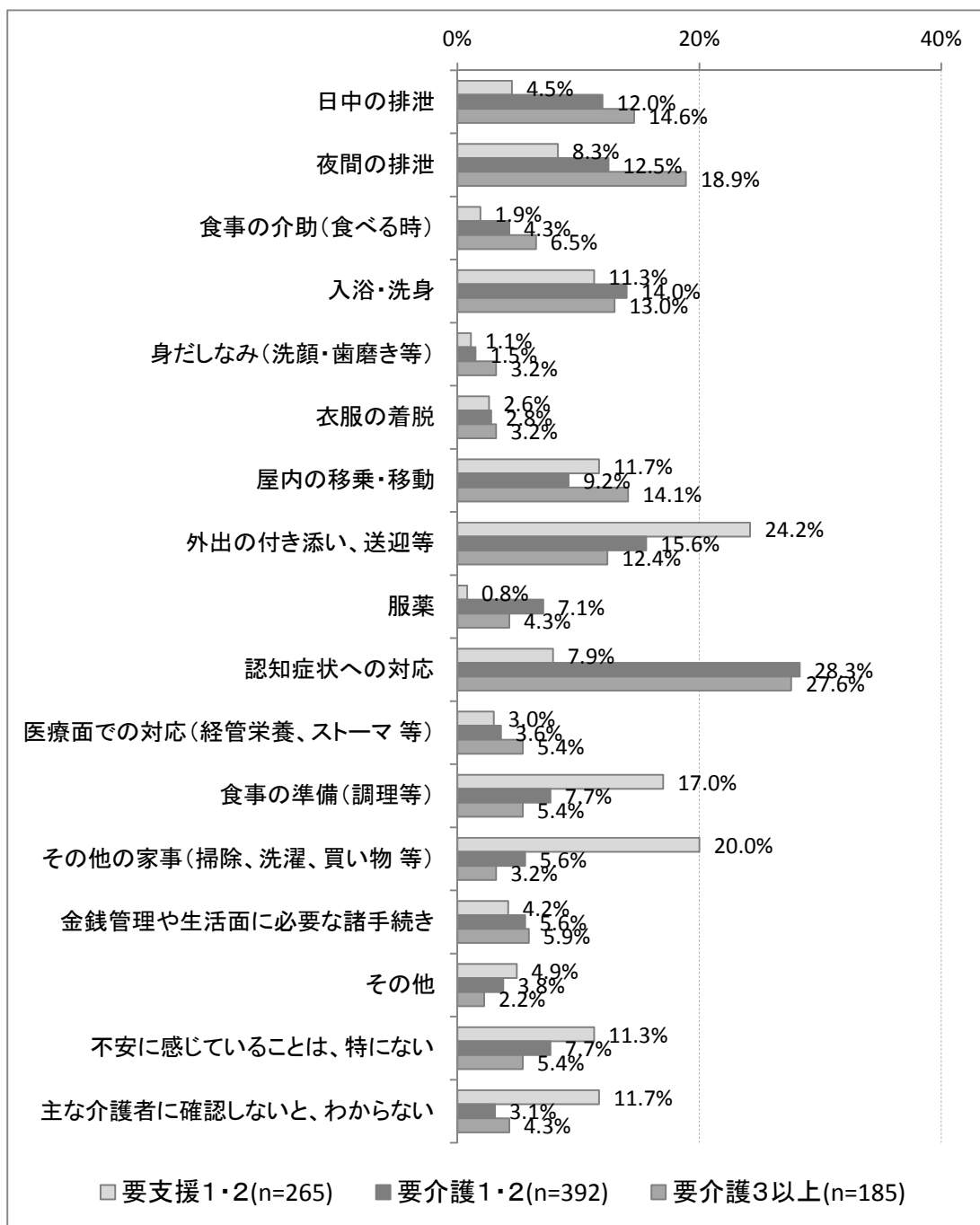
(1) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護（複数回答）

- 主な介護者が不安を感じる介護は、特に、「認知症状への対応」「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」について、主な介護者の不安が大きい傾向がみられました。



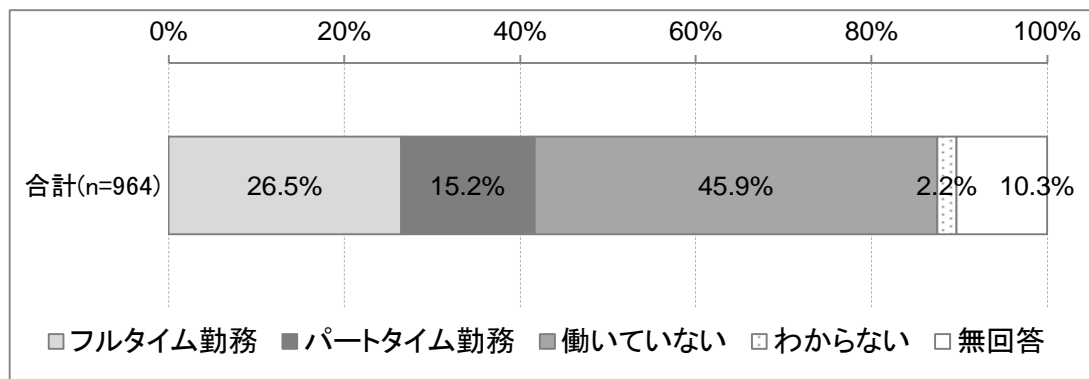
(2) 要介護度別・介護者が不安を感じる介護（複数回答）

●要介護度別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、「認知症状への対応」は要介護1以上で、「外出の付き添い、送迎等」は要支援1・2で高い傾向がみられました。



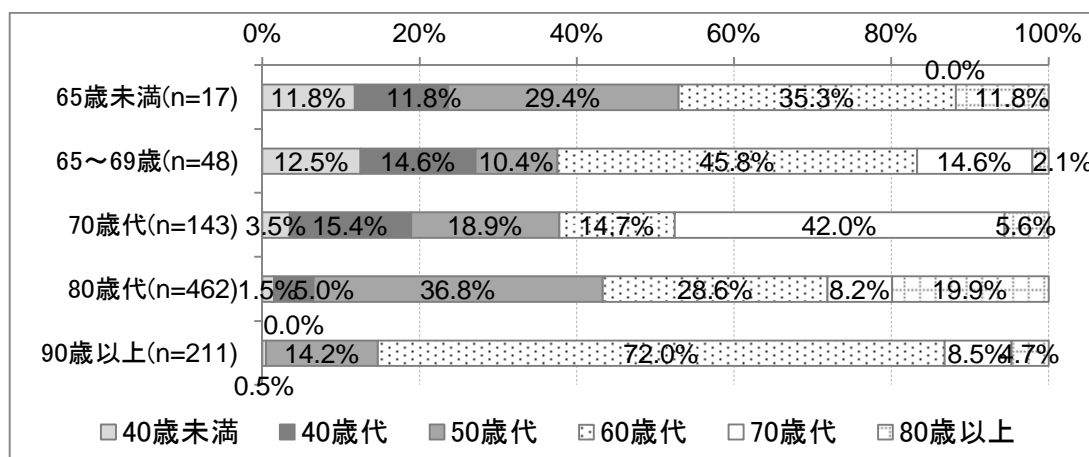
(1) 主な介護者の勤務形態（単数回答）

- 主な介護者の勤務形態を見ると、働いていない人（在宅で介護している人）が約5割となっています。



(2) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

- 本人の年齢別・主な介護者の年齢をみると、50～60歳代が高い傾向がみられました。（主な介護者の本人との関係の調査結果では、主な介護者の多くは、子、配偶者がとなっています。）



(3) 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

- 今後の在宅生活継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護については、「問題はあるが、何とか続けている」もしくは「続けていくのは難しい」とする人では、「認知症

状への対応」「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「夜間の排泄」が高い傾向がみられました。

●これらの介護が「在宅生活を継続しながら就労継続」について、介護者が可否を判断するポイントとなっている可能性があります。

